

# Press Release



<<報道資料>>

2012年6月13日

日本コンピュウェア株式会社

## クラウドからデータセンターに至るまで 業界初の IPv6 にも対応した アプリケーションパフォーマンス管理プラットフォームを提供

インターネットのエッジにおける複雑さを解消するとともに、

**IPv4、IPv6 双方のネットワークのアプリケーションパフォーマンスを最適化**

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間2012年6月6日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2012年6月6日発表 - コンピュウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR)は、本日、「World IPv6 launch」を受け、コンピュウェアの APM プラットフォームが全ブランドにおいて IPv6 をサポートするようになったと発表しました。このサポートにより企業は、Web、モバイル、クラウドアプリケーションの品質とパフォーマンスを維持しつつ、IPv6 への移行を実現でき、使用的なネットワークのプロトコルが IPv4 であるか IPv6 であるかに問わらず、アプリケーションパフォーマンスに関する深い洞察が可能になります。

インターネットは現在、大規模な構造変化にさらされており、インターネットユーザーの急拡大とともに伴う IP アドレスの枯渇により、中核ネットワーク層プロトコルである IPv4 が、IPv6 に取って代わられつつあります。この世代交代により、ブラウザやデバイスの接続やサービスの操作やアクセスなど、インターネットのエッジにおける複雑さが増しています。

エッジにおける複雑さの増加は、エンドユーザー体感、収益、ブランド評価を危険にさらし、アプリケーションパフォーマンスの試験方法や監視方法にも大きな影響を及ぼします。IPv4 と IPv6 による URL のパフォーマンスを比較したコンピュウェアの分析によれば、IPv6 のサイトは IPv4 に比べて 80% 遅いことが判明しています。

コンピュウェアの APM は IPv6 用に以下のサポートを提供し、これらの複雑さに対処します。

### ■[Compuware Gomez]<sup>®</sup>

- **[Compuware Gomez] Synthetic Monitoring が、IPv4 と IPv6 の双方のテスト・監視を実施可能に**

業界初のこの機能により企業は、北米、欧州、アジアをカバーする世界的な[Compuware Gomez]グローバルパフォーマンスネットワークを利用し、IPv4 と IPv6 の Web アプリケーションを事前にテスト・監視できるようになりました。IPv6 に関する問題を迅速に発見し、修正できるようになり、高品質のエンドユーザ一体感が確保されるようになりました。

- **IPv6 をサポートした[Compuware Gomez] Global Performance Network が、現在 IPv4 用の試験を行っているアドレスで利用可能に**

パフォーマンスの比較が同一条件下で行えるようになりました。[Compuware Gomez]のチャート作成オプションのすべてが IPv6 テスト用に使えるようになりました。トレンドレポート、ウォーターフォールチャート、ステップレベル、あるいはネットワークレベルの詳細分析などにより、IPv6 のパフォーマンスを分析し、トラブルシューティングと問題解決を迅速に行えるようになりました。

### ■Compuware dynaTrace

- **dynaTrace User Experience Management (UEM) が、IPv6 ベースのネットワークから Web アプリケーションにアクセスするエンドユーザーに対して、自動的にインサイトを提供します。**

dynaTrace UEM は IPv6 ネットワークからのユーザーに加え、IPv6 ネットワーク上で作動する Web とアプリケーションサーバーの監視もサポートするようになりました。IPv6 におけるセットアップ、コンフィギュレーションはすべて IPv4 と同様に行われ、IPv6 機能の利用法が簡素化されています。

- **dynaTrace Data Center Real-User Monitoring (DC RUM) により、基盤となっているネットワーク技術に関わらず、アプリケーションパフォーマンスの問題を識別できるようになりました。**

ユーザーは IPv6 ネットワークにおけるアプリケーション、トランザクション、顧客のロケーションに基づいたエンドユーザーパフォーマンスを現行の IPv4 ネットワークと同様に調査できるようになりました。

- **dynaTrace Synthetic Monitoring の IPv6 用セットアップが、IPv4 ネットワーク用セットアップと同一になりました。**

IP アドレスを使用するコンフィギュレーションエレメントはすべて IPv6 アドレスを使用します。サーバーの IP アドレスをリストしたレポートが自動的に発行され、IPv6 アドレスが発見された場合には通知を行います。

コンピュウェア APM ビジネスユニットのゼネラルマネージャである John Van Siclen は次のように述べています。

「IPv6 は我々の顧客にとって重要な問題であり、これがインターネットのエッジにおける複雑さを増大させ、アプリケーションパフォーマンスの劣化を招き、エンドユーザ一体感を危険にさらしていることは充分に承知しています。コンピュウェアの IPv6 サポート用 APM を利用すれば、サービスを停止させることなく、IPv6 へのスムーズな移行が可能です」

Compuware APM は、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々

なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザー体感に基づき、ユーザーが利用するブラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリー・チェーン全体の統一ビューを提供します。よりスマートな分析機能と最先端の自動APM機能を兼ね備えたCompuware APMは、顧客の予防的な問題解決を支援することで顧客満足度を向上させ、発売までの時間(TM)を短縮し、アプリケーション管理コストを削減します。

コンピュウェアは、全世界で4,000以上の顧客企業が存在し、Gartner『*Magic Quadrant for Application Performance Monitoring (APM)*』において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jK17>（英文のみ）

コンピュウェアは、Twitter、Youtube、Facebook からも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・[http://twitter.com/compuware\\_japan](http://twitter.com/compuware_japan)（日本コンピュウェアアカウント：日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）

## ■ コンピュウェア コーポレーションについて

コンピュウェアは、'The Technology Performance Company'として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、フォーチュン 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュウェア コーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピュウェア株式会社 <http://jp.compuware.com/>

## ■ お問い合わせ先

### ・報道関係の方

日本コンピュウェア株式会社 広報事務局（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内）

TEL:03-3523-8210、Email: [compuware@jc-inc.co.jp](mailto:compuware@jc-inc.co.jp)

### ・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュウェア株式会社 営業部代表

TEL:03-5473-4531、Email: [marketingjapan@compuware.com](mailto:marketingjapan@compuware.com)

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。